

## 「怒涛の1学期、まもなく終幕です」

県立神戸高等学校長  
新谷 浩一

### ○ オープンハイスクールへの期待が高まっています

8月20日、21日に予定しているオープンハイスクールへの参加募集が締め切られました。総務部長の澤田先生によると申し込み数は中学3年生、保護者あわせて1300人超えて昨年度並みとのことです。ありがたいですね。その一足先に西宮市の教育機関から進学説明会への参加を依頼されたのが総合理学探究部の新先生です。

資料を見せていただきました。西宮市自体は第2学区ですから、本校の普通科には入学できません。そこで、必然的に内容は入学可能な総合理学科に特化したものとなっています。なお、導入部では総合理学科2年生のこんな言葉を引用しています。

『神戸高校とは、自重自治の精神のもと、校風が自由なところ。しかし、伝統を重んじているという奇妙なバランスのもと成立している高校』

新先生の解説が続きます。「要は『生徒が何にでも挑戦できる自由があり、最高の学びを提供できる高校』であり、『新しいことに挑戦することを伝統とする伝統校』なんです。実にわかりやすく、魅力的な言葉です。

その後は総合理学科の学びについて説明されたほか、「大学入学後に伸びる人材」として各方面で活躍する総合理学科卒業生の活躍ぶりを紹介。これも具体的で解りやすいものです。加えて遠方からの通学に不安のないよう、「7時台は1時間に22本!! 山手線以上の本数」とバス通学の利便性についても触れてくれています。

説明会後のアンケート結果からです。「僕も将来、社会で活躍できるような人材になりたいと思いました」「総合理学科に合格したいという思いがいっそう強くなりました」とは中学生の声。「高い自主性に見合った手厚いサポートや環境を整え、公立とは思えないレベルだと感じました」「自主性を伸ばせるとても素敵な学校に思いました」とは保護者の方の声。プレゼンテーションでこの評価をいただけるのですから、オープンハイスクールにて本校で学ぶ生徒の姿をじかに見ていただくと期待はいっそう高まることでしょう。心から楽しみです。



### ○ 時を同じくして、新入生の意識調査の結果が届きました

さて、県教育委員会は全県立高校の1年生を対象とした意識調査を5月に実施することとしています。本校では5月7日に実施しました。その結果からいくつか抜粋します。



『あなたは通っている高校の魅力・特色をどのような場面で感じますか』

1. 校風
2. 部活動
3. 校舎・設備
4. 高度な探究活動

『あなたは高校生活において何を期待しますか』

1. 学力が身についたと実感できる授業
2. 色々な個性を持ったクラスメイトとの交流
3. 生徒会活動や部活動等
4. 自分の興味・関心に応じた選択科目



ちなみに魅力・特色の自由記述のなかに「ウグイスの声が聞こえる」というものがありました。気候はすっかり夏となりましたが、今も涼しい朝方などには校長室にもウグイスの声が届きます。実にいい回答です。

また、『あなたの高校生活は充実していますか』との問いには、70%の生徒が「充実している」、28%の生徒が「少し充実している」と回答してくれています。答えてくれた生徒の皆さん、そして生徒の学校生活を支えてくださっている先生方、本当にありがとうございます。お蔭で中学生の皆さんに多くを期待してもらえただけの環境は守られているのかな、と思っています。

行事を追いかけ、行事に追われながら、学習や部活動、探究活動などの日常に真摯に取り組んできた怒涛の1学期がいよいよ今週で終幕です。やり残しは、ありますか？

